I·O DATA

HDLM2-GWINシリーズ

セットアップガイド

B-MANU201312-01

本製品の設定は、Windowsのリモートデスクトップを使用します。また、DHCPサーバーの有無により手順が異なります。

→ご利用の環境をご確認の上、該当する手順をご覧ください。

- Windows XP以降のパソコンとDHCPサーバがある場合 → Ⓐ
- Windows XP以降のパソコンとDHCPサーバがない場合 → Ⓑ
- Windows XP以降のパソコンがない場合（Windows 2000/Me/98/、Mac OSを使用している場合） → Ⓒ

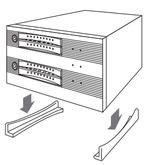
●DHCPサーバとは

ネットワーク内のパソコンなどにIPアドレスを自動で割り当てる機能を持った機器のことです。
DHCPサーバがあるネットワークに本製品を接続すると、自動で本製品にIPアドレスが割り当てられ、ネットワーク上で使用可能になります。（本製品は出荷時設定でDHCPサーバから自動でIPアドレスを取得する設定になっています。）

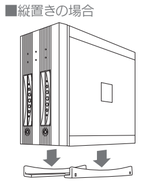
参考 本製品の設定にはIPアドレスやDHCPサーバなどのネットワークの知識が必要です。
詳しい手順は、弊社ホームページ上にもオンラインマニュアルを掲載しておりますので、ご参照ください。
http://www.iodata.jp/support/product/HDLM2-GWIN/

本製品の設置方法

■横置きの場合



■縦置きの場合



※キーロックが下側にくるように設置してください。

注意 ●設置時は本製品に手をはさまないように十分注意してください。

オンラインマニュアルの参照方法

1. Windowsを起動します。
2. 本製品添付の「サポートソフトDVD」をセットします。
3. [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]をダブルクリックして、「HDLM2-GWINサポートソフト」をダブルクリックします。
4. [MANUAL]フォルダを開き、本製品のオンラインマニュアル「LMGWINMAN.PDF」をダブルクリックして開きます。

※LMGWINMAN.PDFを開くには、Acrobat Readerが必要です。

Ⓐ DHCPサーバ（ブロードバンドルーター等）を使用している

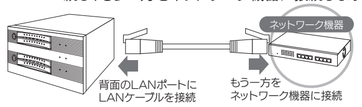
⇒本製品をつなぐネットワーク内にIPアドレスを自動で割り振るDHCPサーバ（ブロードバンドルーターなど）がある場合



DHCPサーバが動作していることをご確認の上、本製品を接続してください。DHCPサーバがない場合は、下記 ↓Ⓑ よりご覧ください。

1 ネットワークにつなぐ

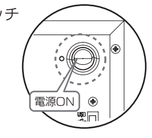
1. 本製品のLANポートに添付のLANケーブルを接続し、もう一方をネットワーク機器に接続します。



注意
- ●必ずLANケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LANケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。
- ●手順2で電源を入れた際にLINKランプ（背面）が点灯しない場合は、再度LANケーブルの接続を確認してください。

2 電源を入れる

1. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。
2. 本製品背面の電源スイッチを押します。



3. システム起動のブザー音「ドレミファソラシド」が鳴り、「HDD1 LED」と「HDD2 LED」（裏面【LED表示/ブザー音】参照）が緑色に点灯します。
4. 電源スイッチを押してから1分ほどで起動が完了します。これで本製品を使用する準備ができました。

注意 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

3 本製品にアクセスする

●HDLM-G設定画面の開き方

本製品の設定画面を開く場合は、Windowsのリモートデスクトップ機能を使用します。

1. [スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]から[アクセサリ]→[通信]→[リモートデスクトップ]をクリックします。
2. 以下のような画面が開きますので、[コンピュータ名]に「hdlm-g」と入力し、[接続]ボタンをクリックします。



3. 以下のようなログイン画面が開きますので、ユーザー名に「Administrator」、パスワードに「admin」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



4. ログインが成功すると、本製品搭載OS Windows Storage Server 2003 R2の初期画面が開きます。
この画面にて必要な設定が行えます。
共有フォルダの作成方法やアクセス方法は、オンラインマニュアルの【付録】をご覧ください。
（各設定はオンラインマニュアルをご覧ください。）

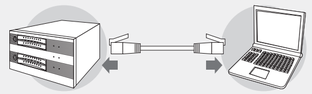
Ⓑ DHCPサーバ（ブロードバンドルーター等）を使用していない

⇒本製品をつなぐネットワーク内にIPアドレスを自動で割り振るDHCPサーバ（ブロードバンドルーターなど）がない場合



1 本製品とパソコンを接続する

本製品を設定するパソコン（設定用パソコン）と本製品をネットワークに接続せずに、LANケーブルで直接接続します。



手順2で電源を入れた際にLINKランプ（背面）が点灯しない場合は、再度LANケーブルの接続を確認してください。

2 電源を入れる

1. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。
2. 本製品背面の電源スイッチを押します。



3. システム起動のブザー音「ドレミファソラシド」が鳴り、「HDD1 LED」と「HDD2 LED」（裏面【LED表示/ブザー音】参照）が緑色に点灯します。
4. 設定用パソコンの電源を入れます。

注意 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

3 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定する

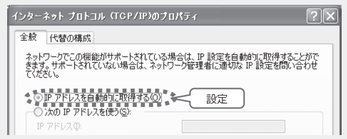
●以下はWindows XPの場合の例です。

1. 現在の設定用パソコンのIPアドレスを確認、メモします。後で、現在のIPアドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

▼確認したIPアドレスを記入してください

IPアドレス	. . .

2. 一時的に「IPアドレスを自動的に取得する」に設定します。



設定したら[OK]ボタンをクリックし、いったんパソコンを再起動します。

4 本製品のIPアドレスを設定する

●HDLM-G設定画面の開き方

本製品の設定画面を開く場合は、Windows XPから、リモートデスクトップを使用します。

1. [スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]から[アクセサリ]→[通信]→[リモートデスクトップ]をクリックします。
2. 以下のような画面が開きますので、[コンピュータ名]に「hdlm-g」と入力し、[接続]ボタンをクリックします。



3. 以下のようなログイン画面が開きますので、ユーザー名に「Administrator」、パスワードに「admin」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



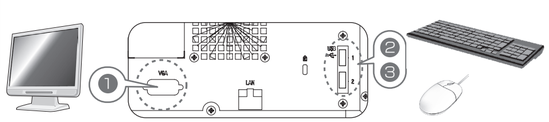
4. ログインが成功すると、本製品搭載OS Windows Storage Server 2003 R2の初期画面が開きます。
5. リモートデスクトップから、本製品のIPアドレスを3の1でメモしたIPアドレスを参考にネットワークに適した値に変更します。
6. IPアドレス変更後は、通信ができなくなるため、いったんリモートデスクトップ画面を閉じます。

Ⓒ ネットワークを使用せずにセットアップする

⇒リモートデスクトップが使用できない環境の場合

1 本製品にディスプレイ、キーボード、マウスをつなぐ

1. 本製品のVGAコネクタにパソコン用のディスプレイを接続します。
2. 本製品のUSBポートにUSB接続のキーボードを接続します。
3. 本製品のUSBポートにUSB接続のマウスを接続します。



2 電源を入れる

1. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。
2. 本製品背面の電源スイッチを押します。



3. システム起動のブザー音「ドレミファソラシド」が鳴り、「HDD1 LED」と「HDD2 LED」（裏面【LED表示/ブザー音】参照）が緑色に点灯します。
4. 電源スイッチを押してから1分ほどで起動が完了します。これで本製品を使用する準備ができました。

注意 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

3 ログオンする

1. 以下のような画面が表示されますので、「Ctrl+Alt+Delete」キーを押します。



2. 以下のような画面が開きますので、[ユーザー名]に「Administrator」、[パスワード]に「admin」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



3. ログインが成功すると、本製品搭載OS Windows Storage Server 2003 R2の初期画面が開きます。
この画面にて必要な設定が行えます。
共有フォルダの作成方法やアクセス方法は、オンラインマニュアルの【付録】をご覧ください。
（各設定はオンラインマニュアルをご覧ください。）

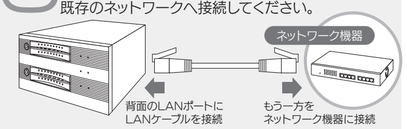
注意 USB接続のキーボードを接続した場合、初期状態のキー配列は英語配列として動作します。日本語配列に変更するには、オンラインマニュアルの【付録】をご覧ください。

5 設定用パソコンのIPアドレスを元に戻す

1. 本製品から設定用パソコンを取り外します。
2. 設定用パソコンのIPアドレスを元に戻します。
（設定用パソコンをネットワークに接続する場合は、変更したIPアドレスを元に戻す必要があります。
手順3でメモした値に戻してください。）

6 ネットワークにつなぐ

既存のネットワークへ接続してください。



共有フォルダの作成方法やアクセス方法は、オンラインマニュアルの【付録】をご覧ください。
（各設定はオンラインマニュアルをご覧ください。）

運用上の注意

●本製品のミラーリング機能使用時での注意事項

本製品は、ミラーリングにより、HDDの故障からデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、本製品本体部の故障、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータの破損などを防ぐことはできません。
USB接続のHDDへのデータバックアップを行うことをおすすめします。

●ミラーリング動作中にHDDの故障を検出した場合

本製品はミラーリング動作中にエラーを検出した場合、できる限りのリカバリー処理(メインHDDの入れ替えや自動リビルドの開始など)を行いますが、リカバリー処理できないと判断した場合は動作不能と判断したHDDをミラーリングから論理的に切り離し、エラーの状態に応じたブザーを鳴らして警告します。
ブザーが鳴った場合は、「動作の状態と対処」に従い処置を行ってください。

●ドライブ交換における注意事項

本製品は、動作中におけるドライブ交換(ホットスワップ)に対応し、安全にドライブを取り外すことは可能ですが、正常動作状態におけるドライブの取り外しは、データを破損する場合があります。
データ破損せずにドライブを取り外す場合は、本製品の電源を切ってから、取り外し作業を行うことを推奨します。

●ソフトウェアをインストールする際の注意事項

本製品は、Windows用のソフトウェアをインストールすることが可能となっていますが、Windows Storage Server 2003 R2での動作確認済みのソフトウェア以外はインストールしないでください。
インストールした場合やインストールによって不具合が発生した場合は、弊社では保証外とさせていただきます。
また、インストールしたソフトウェアに関してはサポート外になります。
ご質問等は、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

●保存データについての注意事項

・弊社では、データの保証および復旧は行っておりません。
・万一、HDD内で論理的な故障が起きた場合は、ミラーリングを行っている両方のHDDに影響があります。そのため、定期的にデータのバックアップを行うような運用方法をおすすめします。

●HDDを廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、フォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。
情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

注意 HDD上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくHDDを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●メインHDD、ミラーHDDについて

本製品はデータの書き込みを2台に対して行いますが、読み出しはどちらか1台に対してのみ行います。メインとは読み出しを行うハードディスクを指します。メイン側にエラーが発生した場合は、メインHDDとミラーHDDとを自動的に切り替えます。動作中においては、メインとミラーを意識することなくご利用いただけます。

●リビルドとは…

1台のディスクからもう一方にデータをコピーして、同期化を行う修復作業のことです。

「弊社では、データの保証および
復旧はできません。」

トレイを取り出す・挿入する

本製品には2つのトレイ(トレイ内にHDDが入っています)があります。一方のHDDが故障した場合、故障したHDDを交換するだけで本製品を再度ミラーリング状態で使用できるようになります。

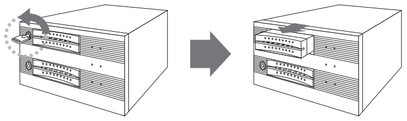
※出荷時は上側のHDD1がメインHDD、下側のHDD2がミラーHDDに設定されています。
トレイは本製品の電源がON／OFFのいずれの場合でも取り出すことができます。

注意 本製品の電源ON時にトレイを挿入する・取り出す場合は以下にご注意ください。
- ●リビルド中にロック解除およびトレイの取り出しは行わないでください。
- ●同時に2つのロックの解除および2つのトレイを取り外さないでください。取り外した場合は再度、ミラーリングを構成し直す必要があります。
(対処3【ミラーリング状態で起動できない場合】参照)

参考
- ●取り出し時にはロックを解除します。ロックを解除した時点でハードディスクは認識されなくなります。トレイ挿入時には、必ずロックしてください。
- ●本製品の電源ON時にトレイを挿入すると挿入した方のHDDがミラーHDDとなります。
- ●トレイ挿入から再びミラーリング状態になるまでの時間は、1TBあたり約5時間が目安です。
例: 2TBのHDDの場合は10時間かかります。

トレイを取り出す

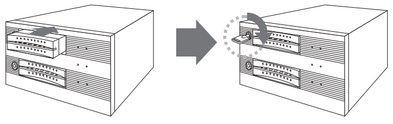
ロックキーで取り出す方のロックを上側に回し、ロックを解除し、取手を持って、トレイをまっすぐ引き出します。



これでトレイが取り出せます。警告音が鳴っている場合は、ロックキー操作によるブザー音停止(次のページ参照)または本製品の設定画面でブザー音を停止させます。

トレイを挿入する

トレイをスロットにまっすぐに挿入し、ロックキーを右下に回し、ロックします。



電源を切る場合

1. 表面A～Cのいずれかの方法で本製品の設定画面を開きます。
2. 【表面AまたはBでログインした場合】
スタートメニューから「終了オプション」をクリックし、表示されたダイアログにて実行する操作に「シャットダウン」を選択し、「オプション」、「説明」は適宜選択、入力し「OK」ボタンをクリックします。
【表面Cでログインした場合】
本製品背面の電源スイッチを押します。
3. シャットダウン処理が終了すると自動的に[POWER]ランプが消灯します。

注意
- ●電源スイッチで電源が切れない場合は、リモートデスクトップまたは、ディスプレイ、キーボード、マウスを接続し、ログインを行ってから、再度❶～❸の操作を行ってください。
- ●増設HDDやプリンタがある場合は、下記の順で電源を切ってください。
❶～❸にて本製品の電源OFF ⇒ 増設HDDやプリンタの電源をOFF
- ●長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外しておくことをおすすめします。

Q&A

リモートデスクトップにログインできない

対処1 ユーザー名とパスワードが正しく入力されていることをご確認ください。
本製品の工場出荷時設定では、以下のようになっています。
ユーザー名「Administrator」
パスワード「admin」

対処2 本製品の電源が入っていること[POWER]ランプが点灯しているか)、接続ケーブルがLANに接続されているか確認してください。
(パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

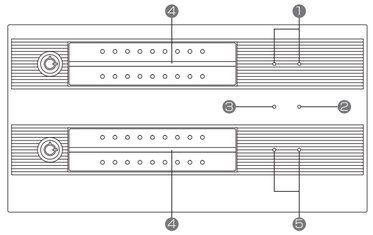
対処3 本製品と、本製品にアクセスしているクライアントのIPアドレス体系が合っていることをご確認ください。
例えば、お使いのパソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、IPアドレスの体系が合っていないことが考えられます。

対処4 セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。
詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

対処5 (DHCPサーバがある環境の場合)DHCPサーバからIPアドレスを取得できていない可能性があります。
本製品をいったん再起動してから、再度接続をお試しください。

動作の状態と対処

本製品は、LEDランプの表示状態(点灯・消灯・点滅)の組み合わせにより、現在の動作状態を表示します。



No.	名 称	機 能
❶	HDD1 LED	HDD1およびHDD2の状態を表します。 (緑)……正常に動作している状態 (赤)……障害が発生した状態 詳しくは、下記「LED表示/ブザー音」をご覧ください。
❺	HDD2 LED	
❷	POWERランプ	(青)……本機の電源ランプです。
❸	ACCESSランプ	(緑)……本機にアクセス時に点滅します。
❹	アクセスLED	(青)……HDD1およびHDD2に読み込み・書き込みが発生したときに、点灯します。 アクセスがない場合は、消灯します。

●ロックキー操作によるブザー(警告音)停止方法

警告音が鳴り続けている状態の時、以下のロックキー操作により警告音を止めることができます。

注意 この操作は警告音が鳴っている時のみ可能です。警告音が鳴っていない場合は、絶対にこの操作を行わないでください。

HDD1またはHDD2のいずれかのロックキーを以下のように操作すれば警告音が停止します。
- ●方法1: ロックON → ロックOFF(「ピー」と鳴ります) → ロックON(ブザー停止)
- ●方法2: ロックOFF → ロックON(「ピー」と鳴ります) → ロックOFF(ブザー停止)

●LED表示/ブザー音

状 態	システム状態名	HDD1 緑	HDD1 赤	HDD2 緑	HDD2 赤	ブザー音	状態の説明	対 処
通常	正常動作中	緑点灯	消灯	緑点灯	消灯	なし	正常運転中の状態です。	
リビルド	HDD1→HDD2リビルド中	緑点灯	消灯	緑点滅	消灯	なし	HDD2を交換し、リビルド処理中の状態です。	
	HDD2→HDD1リビルド中	緑点滅	消灯	緑点灯	消灯	なし	HDD1を交換し、リビルド処理中の状態です。	
エラー	HDD1未接続／故障	消灯	消灯	緑点灯	消灯	ピーッ,ピーッ,…	HDD1に障害が発生しています。	HDDに障害が発生した場合の対処を行う(対処1)
	HDD2未接続／故障	緑点灯	消灯	消灯	消灯	ピピッ,ピピッ,…	HDD2に障害が発生しています。	
	HDDエラー発生(HDD1ミラーHDDエラー)	消灯	赤点滅	緑点灯	消灯	ピポ!,ピーッ,ピーッ,…	HDD1に障害が発生しています。	
	HDDエラー発生(HDD2ミラーHDDエラー)	緑点灯	消灯	消灯	赤点滅	ピポ!,ピピッ,ピピッ,…	HDD2に障害が発生しています。	
	メインHDDエラー (HDD1メインHDDエラー、リビルド停止)	消灯	赤点滅	消灯	赤点灯	ピッ,ピッ,ピーッ,…	メインHDDからミラーHDDへリビルド処理中、もしくはメインHDDのみで稼動させた状態でエラーが発生しています。	メインHDDに障害が発生した場合の対処を行う(「重要」へ)
	メインHDDエラー (HDD2メインHDDエラー、リビルド停止)	赤点灯	消灯	消灯	赤点滅	ピッ,ピッ,ピピッ,…	メインHDDからミラーHDDへリビルド処理中、もしくはメインHDDのみで稼動させた状態でエラーが発生しています。	
	メインHDDエラー (HDD1メインHDDエラー[シングル])	消灯	赤点滅	消灯	消灯	ピッ,ピッ,ピーッ,…	メインHDDからミラーHDDへリビルド処理中、もしくはメインHDDのみで稼動させた状態でエラーが発生しています。	
	メインHDDエラー (HDD2メインHDDエラー[シングル])	消灯	消灯	消灯	赤点滅	ピッ,ピッ,ピピッ,…	メインHDDからミラーHDDへリビルド処理中、もしくはメインHDDのみで稼動させた状態でエラーが発生しています。	
システム停止エラー	システム停止(HDD1、HDD2未接続)	消灯	消灯	消灯	消灯	ピーポーピーポー,…	ミラーリングシステム障害により、動作が停止した状態です。 (リビルド処理中にメインHDDを取り外したなど)	システムに障害が発生した場合の対処を行う(「重要」へ)
	システム停止 (HDD1メインHDDエラー、リビルド停止)	消灯	消灯	消灯	赤点灯	ピーポーピーポー,…	ミラーリングシステム障害により、動作が停止した状態です。 (リビルド処理中にメインHDDを取り外したなど)	
	システム停止 (HDD2メインHDDエラー、リビルド停止)	消灯	赤点灯	消灯	消灯	ピーポーピーポー,…	ミラーリングシステム障害により、動作が停止した状態です。 (リビルド処理中にメインHDDを取り外したなど)	
	メインHDD不明 (HDD1、HDD2メインHDD検出ミス)	緑点滅	消灯	緑点滅	消灯	ピピポポ,ピピポポ,…	メインHDDを検出できず、特定できないために動作が停止した状態です。	
	メインHDD不明 (HDD1リビルド中メインHDD検出ミス)	消灯	消灯	緑点滅	消灯	ピピポポ,ピピポポ,…	メインHDDを検出できず、特定できないために動作が停止した状態です。	
	メインHDD不明 (HDD2リビルド中メインHDD検出ミス)	緑点滅	消灯	消灯	消灯	ピピポポ,ピピポポ,…	メインHDDを検出できず、特定できないために動作が停止した状態です。	

重要

以下の3つの警告状態は、かなり深刻な場合があります。それぞれの対処を実施しても、復旧しない場合は、データが破損している恐れがあります。

●メインHDDエラー

■(リビルド時に)メインHDDに、エラーが発生

この表示になっている時は、メインHDDに回復不能なエラーが発生しましたが、切替のためのミラーHDDが未接続、またはリビルド中であったために切り替えられなかった状態です。
この場合、HDD内のデータが二重化されていない状態でのエラーとなるため、HDD内のデータは破損している可能性があります。

対処 破損していないデータをバックアップするため対処2【メインHDDに障害が発生した場合】を行ってください。)

●システム停止

この表示になっている時は、本製品がRAIDディスクとして動作できない次のような状況です。

■HDDを接続していない状態で起動した

対処 本製品はHDD2台で動作します。かならず2台取り付けてください。
HDD1、HDD2がない状態で本製品の電源を入れた場合、ミラーリング状態は解除されます。再度、ミラーリング設定手順を行ってください。(対処3【ミラーリング状態で起動できない場合】を参照)

■ミラーHDDのない状態でメインHDDを取り外した
(リビルド中のメインHDDの取り外しなど)

対処 本製品はミラーHDDのない状態でメインHDDを取り外した場合、RAIDディスクとして動作することができません。いったん取り外して、再度、ミラーリング設定手順を行ってください。(対処3【ミラーリング状態で起動できない場合】を参照)

●メインHDD不明

■HDDを2台とも新規ドライブを接続した状態で起動した

対処 システムの入った正常なHDDをHDD1として、
対処3【ミラーリング状態で起動できない場合】を行ってください。

■メインHDDを、新規ドライブに交換した状態で起動した

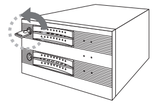
対処 システムの入った正常なミラーHDDをHDD1として、
対処3【ミラーリング状態で起動できない場合】を行ってください。

対処1: HDDに障害が発生した場合の対処

「ブザーが鳴り、HDD1 LEDが緑点灯し、かつHDD2 LEDが緑消灯(赤は消灯もしくは点滅している)」
「ブザーが鳴り、HDD2 LEDが緑点灯し、かつHDD1 LEDが緑消灯(赤は消灯もしくは点滅している)」

内容 この状態は、緑消灯しているHDDユニットに障害があると判断し、エラーが発生しています。
HDDユニットが1つ(シングル)の状態での運用となっていますので、早急に障害があるHDDユニットを交換する必要があります。

対処 以下の手順に従い、ブザーの鳴動を停止し、HDDユニットを交換します。



①ブザーを停止する
障害のある(緑消灯している)HDDユニットのキーロックをいったん解除し(反時計回りに90°)、再びロック位置(時計回りに90°)に戻します。
これでブザーの鳴動は停止します。

②障害のあるHDDユニットの交換
障害のある(緑消灯している)HDDユニットのキーロックを解除し(反時計回りに90°)、HDDユニットを取り外します。
別売オプション品のHDDユニット(HDM-OPシリーズ)をその位置へ挿入し、キーロックをロック位置に戻します。
障害のあった側のHDDユニットのLEDが緑点滅し、リビルド処理を自動的に開始します。
数十分～数時間後、ブザーが鳴り、障害のあった側のHDDユニットのLEDが緑点灯になったらリビルド処理は完了です。
各パソコンから本製品へのアクセスをおこなってください。

対処2: メインHDDに障害が発生した場合の対処

データが二重化されていない状態でエラーが発生した為、データが破損した可能性があります。次の作業を行っても、全てのデータが補償される訳ではありません。
①電源を切ってください。(15分以上経過してもPOWERランプが消えない時は、電源ケーブルを一旦抜いて約10秒後に差し直してください。)
②赤色LEDが点灯または消灯している(点滅していない)方のHDDが入っている場合はHDDを抜いた上で、電源を入れてください。
③起動したら障害の発生したHDDよりコピーできる限りのデータを別の外付けHDDなどへバックアップしてください。
④エラーの発生した状態のHDD2台とも、修理をご依頼ください。なお、修理の際はHDD内のデータは全て消去されます。

対処3: ミラーリング状態で起動できない場合

①ロックキーでHDD1およびHDD2の両方のロックを解除します。
②本製品の電源スイッチを長押しし、電源を切ります。
③RAID情報を初期化するために、電源ケーブルを挿し、本製品の電源を入れます。システム停止のブザー音(ピーポーピーポー,…)が鳴ります。
④再度、本製品の電源スイッチを長押しし、電源を切ります。
⑤HDD1のみをロックします。
※HDD1をメインにする場合です。HDD1には、システムおよび、データの入ったHDDにしてください。
⑥電源ケーブルを挿し、本製品の電源を入れます。システムの起動のブザー音(ドレミファシラシド)が鳴ります。その後、HDD2未接続のブザー音(ピピッ,ピピッ,・・・・)が鳴ります。
⑦ロックキー操作またはWeb画面(設定画面)からブザー音を停止します。
⑧HDD2をロックします。
※本製品の電源が入っている状態でロックします。正常に認識されると(ピポッ)と鳴って、リビルド(メインHDDの内容をミラーHDDにコピー)を開始します。(数分間～数時間・・・環境により異なります。)
⑨リビルドが終了します。システム設定変更(ドドソソララソ)のブザーが鳴ります。

参考 ●リビルドとは…
1台のディスクからもう一方のディスクにデータをコピーして、同期化を行う修復作業ですのことです。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ: http://www.iodata.jp/support/
2009.11.6 発行
Copyright (C) 2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.